

平穏な街を願って

雪谷に赴任した昨年4月のことだ。

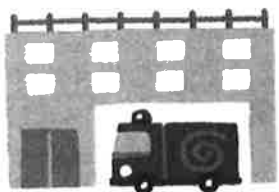
歌で聞く“池上線”を口ずさみ石川台の駅から雪ヶ谷八幡神社を経て坂を上り行き着いた。ひょっとして生きていたのかもしれない「田園調布消防署雪谷出張所」。

消防生活30年を越えあと2年で退職を迎えようとしている。静かな街並み。退職前最後の仕事場。いい環境を与えてもらった気がする。

今思うことは、この静かな平和な街をそのままにしておきたいことだ。去年の春に雪谷にきて夏秋冬そして春を迎えた。我々消防職員が活躍してしまう災害は皆無であったほうがいい。災害皆無をずっと続けるための活躍はしていきたい。

さて、東京消防庁の課題がある。2020東京オリンピック・パラリンピックである。東京消防庁では、「安心安全な街・東京」を担うべく対策推進本部をもうけた。また、急増する、外国人旅行者の宿泊施設不足をにらんだ、いわゆる「民泊」の問題にも検討を続けている。

(東京消防庁田園調布消防署 雪谷出張所副所長・加田野勝彦)



ゆとりが無くなった

戦前に比べると、雪ヶ谷は呑川で二分されてすごく変化し発展してしまった。稲や野菜の畠は姿を消し、育成されていた原っぱの芝生は、コンクリート造りの住宅に変わってしまった。池上線の車庫があるので交通は極めて便利だ。昔の芝生では、ギンヤンマ・鬼ヤンマをとりもちをつけ竹竿で追い回し、毎日数えきれない程沢山捕まえたものだ。

当時の呑川は少しばかりの雨でもすぐに溢れて、小学校はすぐ授業を中断し帰宅するよう指示されたりした。児童だった私達は大喜びで道草をしながら帰宅したものだ。

儀式の際、天皇・皇后の写真が講堂の正面に掛けられ、校長先生が教育勅語を読む時は最敬礼をしなければならなかった。その際頭を下げたままの姿勢で立っているため、鼻をすずたりしてはいけなと、よく注意された。鼻たらしの習慣の児童が沢山いた時代だった。登下校の途中には雑草の生い茂る空地が幾つもあり、そこを利用して遊び場にした。戦争ゴッコや鬼ゴッコをしてよく遊んだ。遊び場はどこにでもあり、場所とりに苦労したことはなかった。どこの原っぱも今となっては立派な住宅が建ってしまい、昔の面影は全くなくなってしまった。

ゆとりが無くなってしまった。

(南雪谷・武井 詢)

大田区観光大使（ネパール）として

13年前にネパールのルンビニー（釈尊生誕の地といわれる）から、来日しました。この地に在勤、在住して7年になります。

希望ヶ丘商店街では、エスニックレストラン・ハヌマン（第一号店）を開店しました。そして、フリーマーケット、もちつき大会などに毎年、参加しています。



(ネパールの国旗)

また、大田区モデル事業として昭和のゲームを現代っ子へ伝承しています。更に春・夏祭りでは、東日本大震災への義援金を募り、区内外の方々からの真心を大田区長へお届けしています。

2013年に大田区観光大使に任命され、今は大田区内の商店街や町なかの銭湯を盛り上げる活動を行っています。先日は、この様子がNHKの海外向け番組にも取り上げられました。

今後は、オリンピック・パラリンピックを前に安心・安全と防災・防犯を含め、希望ヶ丘自治会・希望ヶ丘商店街の魅力を区内外の方々に宣伝をしていきます。

更に町内・商店の方々、協力させていただきながら声を掛け合い、この地域の発展のために家族も一緒になって尽力してまいります。よろしくお願いいたします。

(最初の「委嘱状」)

(希望ヶ丘・サブクタ スディーブ)

編集後記

この度の編集会議の折、年配の方が書かれたと思う原稿の読み合わせを行っている、今は無き懐かしい建物や昔の遊びのこと等が出てきました。すると皆がそれぞれの思いを語り始め、会議が中々先に進まなくなりました。しかし、それは私にとって懐かしい、楽しいひと時でした。皆さんも同じ時代に、年月を重ねてきたのだなあ…、と思うと感慨深いものがありました。

ありがとうございました。

(石川台・大槻 生)

ふれあい雪谷(創刊 平成2年(1990)12月20日) 年4回発行
 (1月・新年号/4月・さくら号/7月・あさがお号/10月・もみじ号/の1日発行)
 [発行日] 平成28年(2016年)さくら号 4月1日(通巻 第102号) 発行
 [発行] 地域力推進雪谷地区委員会 [編集]「ふれあい雪谷」編集委員会
 [連絡先] 雪谷特別出張所
 〒145-0065 大田区東雪谷3-6-2 電話3729-5117 FAX3729-1826

http://www.city.ota.tokyo.jp/chofu/ts_yukigaya/index.html

クイズの答え

- 1.①
- 2.① 正しくは調布弁天湯（御嶽山駅より徒歩一分の天然温泉）
 ②（雪谷中学校そばの薬湯）③（マルサンストアー前の天然黒湯）

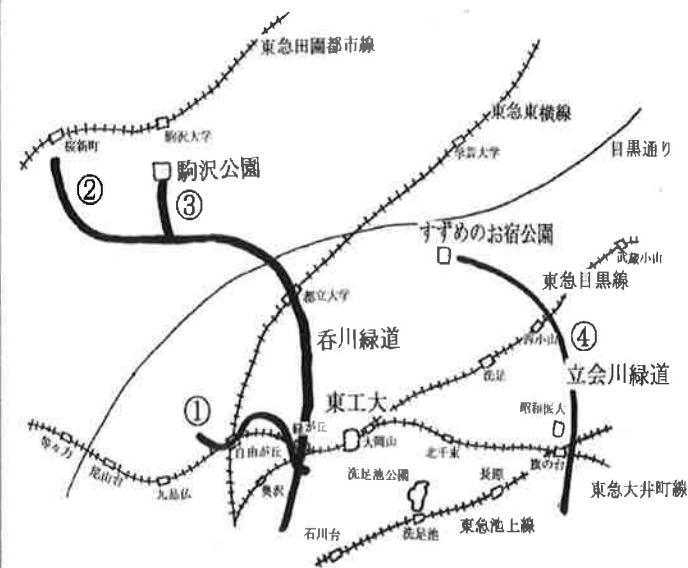
ふれあい
雪谷

平成28年 4月 さくら号 通巻第102号



池の台・山崎隆二さんの作品

ちょっと歩いてみませんか？



大田区のほぼ中央を流れる呑川の上流は、緑が丘駅先から暗渠になり、上が緑道公園になっています。

一本は、暗渠になって直ぐ左に分かれ大井町線に沿って自由が丘から九品仏まで約3km(①)。もう一本は、大井町線をくぐって東工大の脇を都立大学駅で右に(駅の近くは自転車置き場になっていて分かり難い)駒沢まで2km。右に曲がらず真っ直ぐ行って目黒通りを渡って、世田谷の桜新町まで緑道が約6km続きます(②)。途中に北上する分岐があります。この分岐を行くと約2kmで駒沢オリンピック公園の近くへ着きます(③)。

呑川の下流は、側道になっていて海まで行けませんが、京急蒲田駅の先で旧呑川が暗渠になり約4kmの緑道公園が海の近くまで続いています。

旗の台、昭和医大の脇から立会川緑道が、すすめのお宿公園まで4km続いています(④)。下流は、大井町駅から海まで続いています。緑道公園はほんの一部だけでした。

春風に誘われて、まずは、洗足池の周遊や洗足流れから本門寺まで、などからちょっと歩いてみませんか？

その他のお勧めコースは、次の機会にご紹介します。

(笹丸・鈴木 勉)

小池公園観察会に来てください

長い間釣り堀として利用されていた「小池」は、4月には公園となって8年目の春をむかえます。小池自治会では、この小池公園を利用して様々なイベントを行っています。平成21年4月の小池公園開園以来毎年4月の第1土曜日に、小池若者組合主催の「小池公園春祭り」を実施。7月には雪谷青少年対策委員会との共催で「ホタル観察会」を開催しています。3年前から小池小学校の協力を得て、地域力推進雪谷地区委員会小池公園分科会主催の「小池公園観察会」を運営しています。

観察会は、平成26年7月第1回小池公園観察会開催以来、春・夏・秋年3回行っています。春は植物と昆虫との関わり、夏は池の中の生き物、秋は池の周りの植物についての観察を行ってまいりました。第1回の観察会では、大田区の調査時には発見されなかったハゼ科のヌマチチブという魚を見つけ、昨年の第4回小池公園観察会ではヌマチチブの個体数増加を確認しました。私たちはこの観察会をとおして、参加者の皆さんに自然の大切さを実感して欲しいと思っています。5月には第6回小池公園観察会を予定しています。是非皆様の参加をお待ちしています。



(小池自治会青少年部長・田島道治)

地域の力を学校に！～『学校支援地域本部』

大田区では平成25年度より、全区立小中学校で『学校支援地域本部』の活動がスタートしました。「？」の方も多いと思いますが『学校支援地域本部』は、地域の力を学校で活用し、学校・保護者と共に、地域子どもたちを見守り育てていこうという取り組みの中で発足しました。会長1名・コーディネーター概ね3名がチームを組み各学校のニーズに応じ、地域から人材を探して依頼するなど、主に学校と地域を結びつける役割をしています。

私がコーディネーターをしている大森十中では、生徒の職業体験やボランティア活動の受け入れ先探し・校内花壇の手入れ・HP作成の手伝い等々、多くの地域の方にご協力いただき楽しく活動を続けています。また、小学校では読み聞かせ活動や1年生のサポート等、内容は学校により多岐にわたっています。

活動は学校と連携し地域性を活かして進めていますが、その殆どが無償のボランティアでの依頼となり心苦しくもありますが、学校は地域のパワースポット！手伝う側もたくさん元気をもらえると確信しています！もし近隣の学校のコーディネーターから依頼がありましたら、是非お力をお貸しください！新年度もどうぞよろしくお願いいたします。

(上池上・松田匠子)

道々橋付近の思い出

私は現在、呑川に架かる芹ヶ谷橋のところで町工場を経営しておりますが、この地に越して来てからの思い出話です。

私が22歳の時、昭和48年に池上より引っ越して住み始めました。当時は呑川も護岸工事が完全にできていなくて、川底にたまったゴミなどの悪臭が鼻に付きました。大雨が降るとこの辺りは地盤が低いため、道々橋から呑川の岸まで排水が悪く、一面が水浸しでプールようになり、大雨の水は上流から流れ、このときばかりは呑川の川底をさらって一時的に悪臭が洗い流されることもありました。

自宅に風呂がないので近くの第二亀の湯(洗足池から大森行のバス通りエスニック料理店と運送会社の間の先)に行きました。この風呂屋に行く途中に三幸スタジオ(生協とロジテムの一角)があり三船敏郎さん達が出演、映画撮影をしているというのを聞いたことがあります。

大きな体育館のような建物で、残念ながら撮影現場など見ることもできませんでしたが、この撮影所も昭和53年頃には撮影を止め閉鎖されました。他に大きな建物と言えば醍醐倉庫ぐらいで、まだ田んぼや畑が多く残っていました。ふれあい雪谷の原稿ということで、こんなことが思い出されます。

(東雪・三河廣行)

第7回小池公園春祭り開催のお知らせ

小池若者組合では、今年も洗足風致協会並びに小池自治会の協賛を得て、下記のとおり開催いたします。

日時 4月2日(土) 午前10:00～午後1:00
※雨天4月3日(日)

場所 小池公園

催し物 餅つき、綿アメ、宝釣り、輪投げ、ヨーヨー釣り
スーパーボールすくい等

春の小池公園に皆さまお誘い合わせのうえお出かけください。

クイズ

1. 4月2日は、リニューアルされた洗足池の太鼓橋(池月橋)の渡り初めです。さて、こちらで毎年行われている春宵の響は、いつからはじまったのでしょうか？

①平成7年 ②平成17年 ③平成27年

2. 大田区内には銭湯が43か所あります。さて、雪谷地域の銭湯で、一つだけ名前が間違っているものがあります。何番でしょうか？

①弁天湯 ②明神湯 ③稻荷湯

答えは裏面へ！